

共通教育科目の履修に関するQ&A

Q. 修得することができなかった科目を、自分の所属する学部・学科以外の学部に配当されている科目で再履修することができますか？

A. できます。

再履修では、一部科目を除き(※)、どの科目区分でも修得できなかった科目と同一名称の科目が他の学部用に開講されている場合には、原則として履修することができ、卒業要件となります。同名であれば、学期が違っていても履修可能です。

(※)指定の学部以外は履修を制限している科目もあります。シラバスや科目名の注釈にて判断してください。

例) 秋～冬学期開講の「情報社会基礎」は外国語各部のみ履修可能、など。

Q. 抽選で決定した総合英語を、他の定員が空いているクラスへ変更することができますか？

A. 正規配当はできません。再履修はできます。

正規配当の総合英語は、抽選後のクラス変更を許可していません。ただし、再履修の場合は削除を受け付けていますので人文学研究科マルチリンガル教育教務係(全学教育推進機構 管理・講義 A棟2階)へ申し出てください。その後、先着順登録期間中にご自身で他のクラスへ登録してください。

Q. 自動的に登録されている科目を削除したいのですが。

A. 原則は削除できませんが、やむを得ない理由があると認められる場合のみ、教務係窓口で対応します。

例えば、休学していたので最初から履修しなければならない。他に選択肢の少ない専門基礎教育科目の再履修がその曜日時限にある、など。早めにご相談ください。

Q. 履修希望(抽選)登録で、登録できない(表示されない)科目があるのですが？

A. その科目と同名の科目を既に修得していれば、登録できません。

たとえ内容が異なる場合でも、原則は同じ名称の科目を2回以上修得することができないため、システムで除外されています。

同じ名称の科目を2回以上履修できる例外は、健康・スポーツ教育科目および「積重ね科目(総合英語、グローバル理解、○○語中級などの、マルチリンガル教育科目の一部)(※)」のみです。

Q. 総合英語やグローバル理解などの科目を、春～夏学期で修得できなかった場合、秋～冬学期で配当以外に追加で履修できませんか？

A. 追加で履修することができます。

「積重ね科目（総合英語、〇〇語中級、グローバル理解などの、マルチリンガル教育科目の一部）（※）」については、修得できなかった科目数までは再履修登録をし、卒業要件とすることができます。再履修用の登録画面で希望登録してください。

また、「積重ね科目」は、春～夏学期で修得できなかった科目を秋～冬学期に再履修しても構いません。

※「積重ね科目」とは、同一名称だが異なる内容の授業科目を重ねて履修する科目のことと、全学共通教育科目「履修の手引」の付録3 授業科目一覧表における授業科目名欄が灰色背景の科目。

修得できた場合に、科目の後ろに修得した順番を示す連番（1, 2…）が付く。

Q. 「積重ね科目」の場合で、同じ教科書（テキスト）を使っている科目は単位にならないと聞きましたが？

A. 「積重ね科目」でも、「既に修得した科目と同じテキストの同じ取扱範囲（章）」である場合は、単位とすることができます。

全く同じ内容を修得しても意味がないことから取られている措置です。履修希望（抽選）登録の段階から、シラバス等で利用テキストをよく確認して登録してください。

なお、テキストが異なれば、「同じ担当教員である」ことは、この措置には該当しません。

また、「同じ担当教員でテキストを用いない」場合は、授業開始時に担当教員に確認してください。

Q. 履修希望（抽選）登録の期間は休学／留学しているのですが、希望登録はできますか？

A. 次の学期に在学する予定であれば、希望登録はできます。

インターネットに接続できれば自分で登録ができますので、休学／留学中でもご自身で登録を行ってください。

Q. 第Ⅰ 外国語(英語)の科目の再履修をする場合、修得できなかった科目と名称や区分が同じ科目でなければいけませんか?(2018年度以前入学者対象)

A. 学部によって異なります。「履修の手引」を参照してください。

例えば、平成29年度入学の文学部では、全学共通教育科目「履修の手引」の第Ⅰ 外国語の科目表には、「大学英語」と「実践英語・専門英語基礎」を区別せず、8単位が必要となっています。これは、「大学英語」と「実践英語・専門英語基礎」は「○」の付いている科目から8単位修得することになります。なお、このことに限らず、入学年度の「履修の手引」をよく確認してください。

Q. 現カリキュラムの開始によって、授業科目名に変更が生じていることについて、旧カリキュラムの自分がどの授業科目を受ければよいか、どうすればわかれりますか?(2018年度以前入学者対象)

A. 現カリキュラムと旧カリキュラムの間で科目名の読替を行います。

卒業に必要な単位を修得できるよう、現カリキュラムの授業科目を履修・単位修得することで、自分の卒業要件科目である授業科目に読み替えられて単位修得できるようにしています。

授業科目間の具体的な読替内容については、全学教育推進機構HPやKOAN掲示板等に掲載されております読替表を参照してください。

Q. 旧カリキュラムの再履修なのですが、自分がどの抽選グループを見ればよいのか、画面からわかりません。(2018年度以前入学者対象)

A. 画面上に表示される抽選グループの名称は、主な履修対象である学部新1年生に適用される現カリキュラムに準じた名称となっています。
(例:基盤教養(月5))

履修が必要な場合は、

- ① 自分が修得したい科目【読替先】と、そのために必要となる現カリキュラムの科目【読替元】を確認。
- ② シラバス等にて、【読替元】授業科目の開講曜限と科目区分を確認。
の上、KOANから適切な授業科目を選択して希望登録してください。